

記入年月日
令和 3 年 4 月 19 日

事務事業名		育児支援助成事業				事業区分		担当	
政策体系	政策体系上の位置付け					新規/継続	新規	事務事業No.	010201001067
	総合計画の施策名					単独/補助	補助	所属課	040401
	O102 健康づくりの推進								健康推進課
	政策名							課長名	
	O1 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり							グループ	健康づくりグループ
施策名									
O2 健康づくりの推進									
手段名									
O1 ①健康づくりの推進								担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	O1	O4	O1	O1	O3	O0	母子衛生事業		
法令根拠						単年度繰返し (令和2年度～)			
桜川市育児等支援サービス費用助成事業実施要綱						 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要		
手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	・妊産婦が育児等支援サービス（＊ファミリーサポート事業）を利用した際に要する費用を助成することにより子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠期から出産後を過ごせる環境づくりを推進する。 ＊ファミリーサポート事業・・・子育てを地域で相互援助するお手伝いをする事業 育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助を 行いたい人（提供会員）が会員とな りサポート・センター が仲介して育児の援助 活動を行う	・申請書の受理及び審査 ・決定通知書の送付 ・サービス費用の支給

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
・事業の周知 ・申請受付及び審査 ・決定通知後給付	申請者数	人	0.00	0.00	1.00	2.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
妊婦 産後1年未満の者	妊婦	人	145.00	140.00	140.00	140.00	140.00
	産後1年未満の者	人	190.00	185.00	185.00	185.00	185.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
出産、育児に関する不安や悩みが軽減できる	子育てが楽しいと感じている保護者の割合	%	85.60	89.60	89.70	89.80	89.90
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				01年度	02年度	03年度			期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	0	0	219		0
			事業費計（A）	千円	0	0	219		0
			正規職員従事人数	人	0.00人	3.00人	3.00人		

	02年度事業費 実績（千円）			03年度事業費 予算（千円）		
事業費の内訳				18 負担金補助及び交付金	219	
		合 計	0		合 計	219

事務事業名	育児支援助成事業	事務事業No.	10201001067	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 令和2年度から新規事業として開始されている					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 育児不安や経済的負担が軽減でき、安心して妊娠期及び産後を過ごすことができる					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている 安心安全な妊娠・出産・育児のため切れ目のない母子健康づくりの支援に結びついている
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である 安心して妊娠期から出産後を過ごせる環境づくりの推進を目的としているので妥当である
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☒ 向上余地がない 妊婦面接時において、事業の詳細な説明及び周知を行う
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 サービスを利用することで、育児不安や経済的負担が軽減でき、安心して妊娠期及び産後を過ごすことができるので廃止にはできない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） ☒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない 対象者が限定され、また類似事業がないため統廃合は難しい
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☒ 削減余地がない 利用料金について1回の限度額及び利用回数も制限しており削減はできない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である 妊婦、産後1年未満の方を対象としているので公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 令和2年度から新規事業として整備予算付けをしたが、サービスを利用した方がいなかった。今後はサービスの周知PRを行い利用につなげていきたい。																							
(3) 今後の事業の方向性 ☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
	(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 ☐ A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 ☐	